

参加者アンケート集計結果報告書 (ver.2)
できそうな気がしたらまず試作を！

【講演と実習】
パスファインダー超簡単講座
 -新しい案内ツールをどう作るか-

鹿児島県大学図書館協議会研修会委員長
 上吹越 麻美（鹿児島国際大学附属図書館）

★総合満足度:4.52 点

まとめ *****

難しく考えていたが意外と簡単にできそうで、さくさく作れるようになったら自分も楽しいだろうな。早速実践してみたいという気になった。数が集まって軌道に乗るまでの道のりは長そう。演習と発表の時間不足。レイアウトや資料選択のコツ、活用方法なども聞きたかった

【1】概要 =====

●日時

2009 年 10 月 2 日（金）12:30~16:30

●会場

鹿児島県民交流センター 東 4F 第 2 パソコン室

●講師

仁上幸治(帝京大学 総合教育センター 准教授)

●対象

県内公共図書館司書／小・中・高校の学校司書
 参加者:32 名

●内容

【1】パスファインダー構想前史

- 1) 利用教育の視点
- 2) 業務省力化
- 3) 指導サービスの充実

【2】パスファインダーとは何か

- 1) 利用案内から指導サービスへ
- 2) 文献リストから情報探索ナビゲーションへ
- 3) リーフレットからウェブページへ

【3】バンク構想への展開

- 1) 知識技能の限界を超える
- 2) 相互協力の理念の応用
- 3) 共同事業へ向けて

【4】日常業務の環境条件

- 1) 忙しい
- 2) 慌しい

【5】作成法のポイント

- 1) 誰でもすぐできる
- 2) 日常業務の中で
- 3) 手軽に作れる

【6】作成手順

- 1) 材料を集める
- 2) 分類整理する
- 3) 一覧表にする
- 4) 階層化する
- 5) HTML化する

【7】6つの極意

- 1) 「試作版」と銘打ってアップする
- 2) 自分でレファレンスで試用してみる
- 3) 同僚・友人・知人に試用してもらう
- 4) 改良して公式版としてアップする
- 5) パスファインダーバンクに登録する
- 6) バンクの他館版を参考にして随時改良する

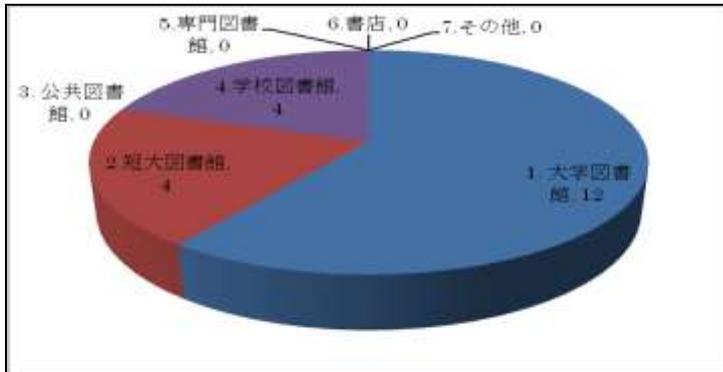
【8】結論：パスファインダーの試作・実用化・発表・共有へ

【2】参加者データ =====

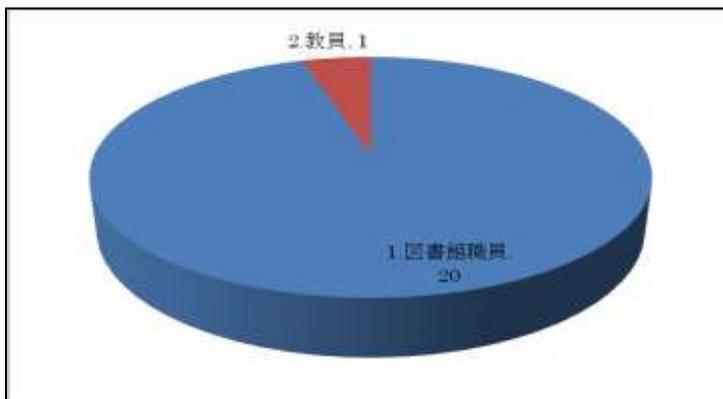
参加者 32 名

回答者 21 名（回答率 69%）

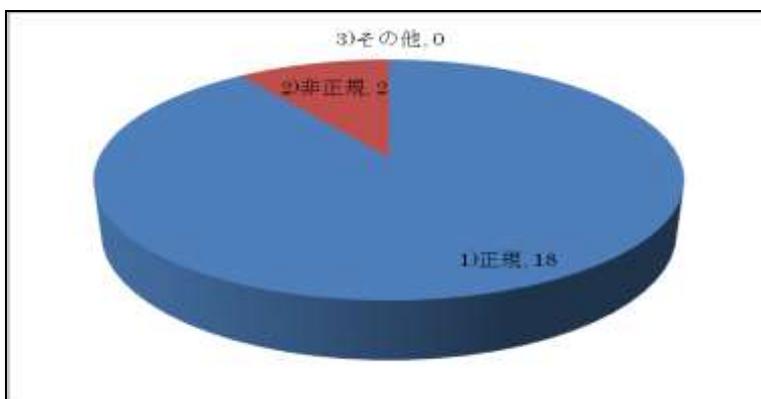
1) 勤務先



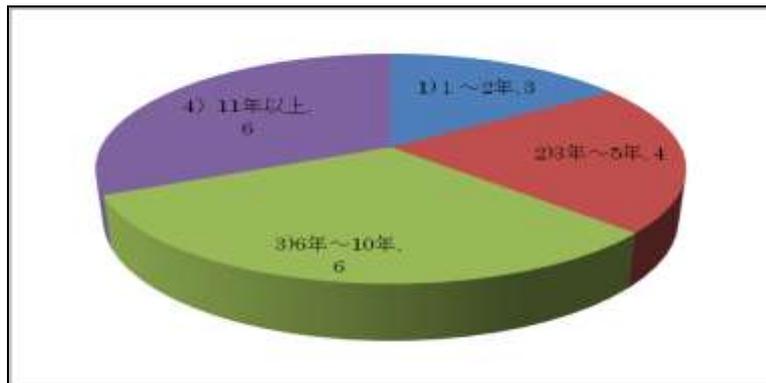
2) 職業



3) 職務



4) 図書館勤務経験

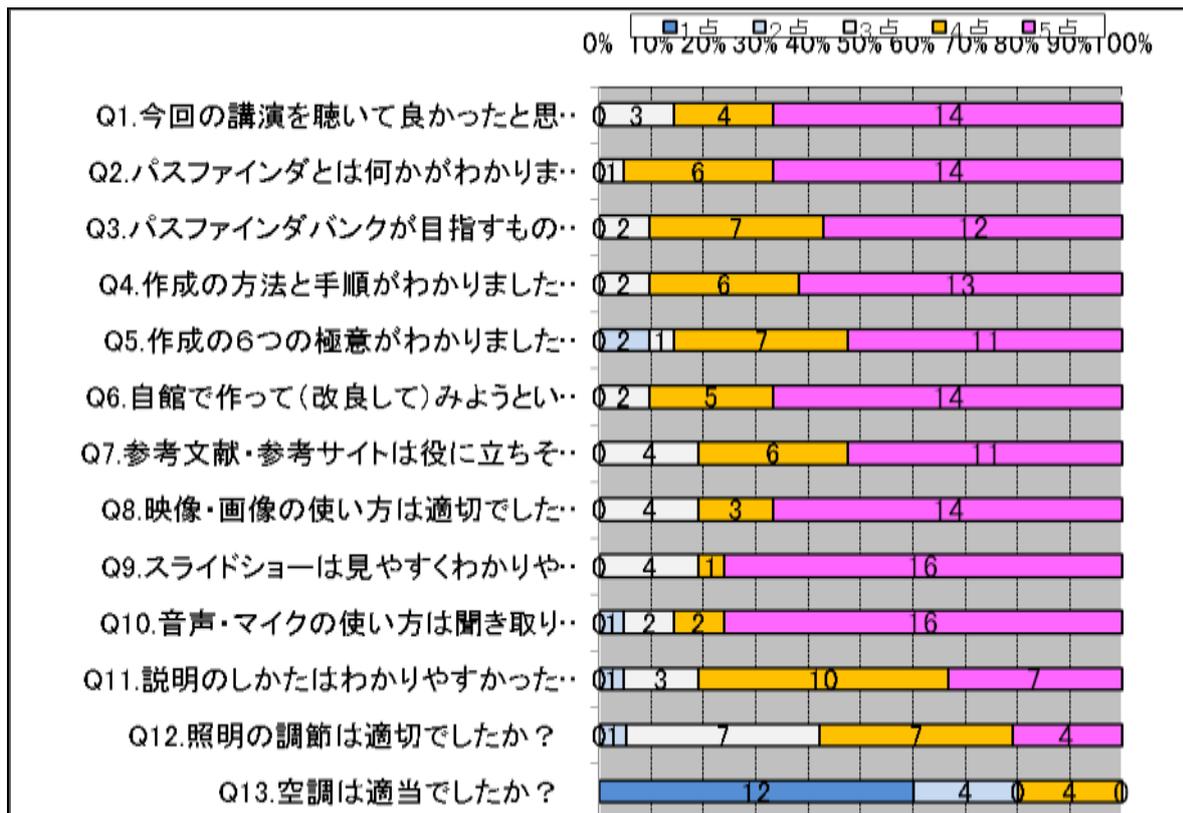


【3】評価： **総合満足度:4.52 点** =====

表1. 5段階評価結果

	1点	2点	3点	4点	5点	平均
Q1.今回の講演を聴いて良かったと思いますか？	0	0	3	4	14	4.52
Q2.パスファインダとは何かがわかりましたか？	0	0	1	6	14	4.52
Q3.パスファインダバンクが目指すものがわかりましたか？	0	0	2	7	12	4.62
Q4.作成の方法と手順がわかりましたか？	0	0	2	6	13	4.48
Q5.作成の6つの極意がわかりましたか？	0	2	1	7	11	4.52
Q6.自館で作って(改良して)みようという気持ちになりましたか？	0	0	2	5	14	4.10
Q7.参考文献・参考サイトは役に立ちそうですか？	0	0	4	6	11	4.57
Q8.映像・画像の使い方は適切でしたか？	0	0	4	3	14	4.33
Q9.スライドショーは見やすくわかりやすかったですか？	0	0	4	1	16	4.48
Q10.音声・マイクの使い方は聞き取りやすかったですか？	0	1	2	2	16	4.57
Q11.説明のしかたはわかりやすかったですか？	0	1	3	10	7	4.48
Q12.照明の調節は適切でしたか？	0	1	7	7	4	4.00
Q13.空調は適当でしたか？	12	4	0	4	0	3.63

図1. 5段階評価結果グラフ



【5】記述内容 *メール提出の原文のまま。=====

Q1.印象をひとことで =====

5点 大変最良

- ・目から鱗。
- ・非常に難しい印象がありましたが、形式があれば心強いです。
- ・難しそうだと思っていましたが、楽しくできました。大きな大学図書館にしか必要ないものでは？(研究者の先行資料の案内と思っていたので)
- ・実習の課題を行ってこなかったもので、ついていけなくて残念でした。
- ・時間が足りなかったなと思いました。パスファインダーは、宿題としてみたときは難しいと思いましたが、説明を聞くと思ったよりは簡単にできそうだなと思いました。
- ・もう少し時間がほしかった。

- ・パスファインダーについて、全く知識がなかったのが大変勉強になりました。
- ・たいへん実用的な講演でした。これから、学校でもぜひ、何か行動しようという気がします。
- ・エネルギー感に力をいただきました
- ・大変勉強になりました。良かったです。
- ・プレゼンが分かりやすかった。レファレンスを大切にしていこうと思った。
- ・パスファインダーを難しく考えていましたが、形式があれば怖くない！と思いました。HPでUP時の秘策「試作中」を上手に使い、ぜひ図書館のHPにUPさせたいです。

4点 やや良

- ・非常に参考になりました
- ・パスファインダーという言葉聞いたことがあっても、自分でどんなものか調べようかと思っていなかったもので、とてもいい機会でした。
- ・最後仕上げまで勉強したかったので、実習の時間がもう少し欲しかった。

3点 ふつう

- ・勉強になりました
- ・図書館業務に対しての知識不足を改めて痛感した
- ・アイスブレイクが印象的だった(笑)。数が集まって軌道に乗るまでの道のりは長いと思う。

Q14.もっと詳しく聞きたかった点はどのような点ですか? =====

5点 大変最良

- ・今のところありませんが、自分で作ってみて色々疑問が出てくると思います。データバンクなどを参考にしたり、おしえていただいた図書を読んでみようと思います。
- ・やはり、もっと時間をとって、レイアウトや資料選択のコツなども聞きたかったです。
- ・特になし
- ・表紙についてもっと詳しく聞きたかった
- ・発表への講評が具体的で参考になりました
- ・情報収集方法をもっと知りたいです。デザインについても勉強したいです。
- ・もっと詳しくというより時間をかけて教われると良かったかなと思います。

- ・項目立てがその後の作業のためにも必要だと分かったが、その項目の立てかたのコツとか
- ・表紙やレイアウト等細部について。

4点 やや良

- ・パスファインダーについての自分の知識不足のせいもあるかと思いますが、時間がもっとあったらよかったですと思いました。
- ・パスファインダーバンクについて

3点 ふつう

- ・各表の関連性をもう少し聞きたかった
- ・パスファインダーを利用してもらうための方法や秘訣について

Q15.講師へのご要望・ご助言など =====

5点 大変最良

- ・今回の研修大変楽しいものでしたが、やはり書きながらの研修の方が頭に入るし頭の動きが止まらないのかなと少し思いました。ずっと見ているだけというのは正直内容がどんなに面白くても厳しいと感じました。
- ・研修始めのカメさんの映像・写真がとても面白かったです。視覚資料はやはり重要なんだな思いました。ありがとうございました。
- ・導入と内容があっていて、分かりやすかったです。
- ・とても参考になりました
- ・特になしです
- ・お話が大変おもしろかったです。
- ・高校の図書館というもともと利用者が限られた中である程度、一般的でかつ個別にあわせたパスファインダーを作るというのはどういうことか。
- ・パスファインダーについてよく理解できました。今後の参考にさせていただきたいと思います。あ

- りがとうございました。
- ・事前課題が良く分からなかったのが残念でした。
- ・導入のカメの映像で一気に和やかな雰囲気になりました。旭川動物園と図書館の関係もとても面白かったです。パスファインダーは、やはりもっと時間が欲しかったです。最後発表まで出来たので良かったです。

4点 やや良

- ・今日は、非常に参考になりました。早速実践してみたいとおもいます。ありがとうございました。
- ・パスファインダーをさくさく作れるようになったら、自分も楽しいだろうなと思いました。この研修を受けてぜひチャレンジしてみたいと思いました。
- ・事前課題が分かりづらかった。ws4本文の埋める為と補足が欲しかった。当日実習を進めていく過程で、ようやく課題とパスファインダーが繋がった。

3点 ふつう

- ・遠路ありがとうございました
- ・図書館の中だけで完結する施策であれば今後

予算や人員の縮小の槍玉に挙がると思うので、大学の経営戦略の中で図書館はこのように貢献できるというような話をお願いしたい。

Q16.今後の講演会のテーマなどについて、ご意見・ご要望をどうぞ。=====

5点 大変最良

- ・聞かせる(エンタメ)オリエンテーションについての講義を聞きたいです。
- ・特になし
- ・卒業研究、レポートの書き方についての教育、指導資料がほしい
- ・図書館サービスについて
- ・利用者の心を掴むプレゼンテーションの秘策

4点 やや良

- ・図書館オリエンテーションの講演会をぜひ聞きたいです。
- ・授業と図書館の連携

3点 ふつう

- ・図書館を活用した就職活動というように、学生の最大の関心事である就職と図書館を結ぶ話があると面白いと思う

以上 ■□■ (2010. 4. 30)